

都市防災事業計画
(平成22～26年)
事後評価シート

令和5年3月

千葉県流山市

様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	千葉県	市町村名	流山市	地区名	流山市	面積	3,139ha
交付期間	平成22年度～平成26年度	事後評価実施時期	令和4年度	交付対象事業費(百万円)	183.2	国費率	0.5

1)事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業	事業名						
		基幹事業	【都市防災総合推進事業】防災行政無線子局の更新30基、増設6基、耐震性貯水槽7基					
		提案事業						
	新たに追加した事業	事業名		削除/追加の理由		削除/追加による目標、指標、数値目標への影響		
		基幹事業						
		提案事業						
		基幹事業	【都市防災総合推進事業】MCA無線43基	防災行政無線における情報伝達の効果を上げ、緊急時に市民に情報を確実に伝えることができる仕組みを整備する。	指標3に良い影響を与える			
			【都市防災総合推進事業】戸別受信機45基(防災拠点)	防災行政無線における情報伝達の効果を上げ、緊急時に市民に情報を確実に伝えることができる仕組みを整備する。	指標3に良い影響を与える			
提案事業								
交付期間の変更	当初	平成22年度～平成26年度	交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響					
変更	なし							

2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指 標		単位	従前値		目標値		数 値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ 予定時期
				基準年度	目標年度	モニタリング	評価値						
	指標1	防災行政無線の整備率	%	15.0%	H22	62.0%	H26		62.0%	100.0%	あり なし	-	
	指標2	耐震性貯水槽の設置	%	0.0%	H22	55.0%	H26		55.0%	100.0%	あり なし	-	
	指標3	災害予防について安全だと思う人の割合	%	42.3%	H22	50.0%	H26		50.7%	101.4%	あり なし	-	
	指標4									あり なし	-		
	指標5									あり なし	-		

3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指 標		単位	従前値		目標値		数 値		目標達成度※1	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ 予定時期
				基準年度	目標年度	モニタリング	評価値						
	その他の数値指標1	-	-										
	その他の数値指標2	-	-										
	その他の数値指標3	-	-										

4) 定性的な効果 発現状況					
5) 実施過程の評価		実施内容	実施状況		今後の対応方針等
	モニタリング	なし	都市再生整備計画に記載し、実施できた		
			都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した		
			都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった		
	官民連携による取組	なし	都市再生整備計画に記載し、実施できた		
			都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した		
			都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった		
	持続的なまちづくり 体制の構築	なし	都市再生整備計画に記載し、実施できた		
			都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した		
			都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった		

様式2-2 地区の概要

千葉県流山市 都市防災事業計画の成果概要									
まちづくりの目標		目標を定量化する指標		従前値		目標値		評価値	
目標① 防災行政無線における情報伝達の更なる効果を挙げ、防災拠点や避難所に対する無線の整備を行い、緊急時に市民に情報を確実に伝えることができる仕組みを整備する。		防災行政無線の整備率	単位：％	15.0	H22	62.0	H26	62.0	H26
		耐震性貯水槽の設置	単位：％	0.0	H22	55.0	H26	55.0	H26
		災害予防において安全だと思う人の割合	単位：％	42.3	H22	50.0	H26	50.7	H26
目標② 水道の断水によるライフラインが途絶された場合においても、火災の延焼、拡大による被害を軽減するための防災力となる耐震性貯水槽を設置する。									
<div><div><div>H22～24 A-1防災行政無線子局の更新・増設 (計36基、市内全域)</div><div>H23～25 A-2耐震性貯水槽設置 (7基、市内全域)</div><div>H24～25 A-3MCA無線機の整備 (計43基、市内全域)</div><div>H24～26 A-4防災行政無線戸別受信機の整備 (計45基、市内全域)</div></div><div><div>C-1災害用井戸設置 (北部公民館)</div><div>C-1災害用井戸設置 (文化会館)</div><div>C-1災害用井戸設置 (東部公民館)</div></div></div>									
まちの課題の変化	<div>・防災行政無線の子局の更新、設置したことにより、災害発生時の情報伝達を市内の広い範囲でカバーできるようになった。</div> <div>・鉄道会社や医療機関にMCA無線を設置し、災害発生時瞬時に情報交換を行い、連携することが可能となった。</div> <div>・耐震性貯水槽の整備を進め、水利が不足している区域にも生活用水の確保が進んだ。</div>								
今後のまちづくりの方策 (改善策を含む)	<div>・防災行政無線は、災害発生時、効果的な情報伝達手段であることから、今後も安定して稼働できるよう整備、保守を行っていく。</div> <div>・災害発生時の断水に備え、耐震性貯水槽をはじめとして、生活用水の確保は他部署と連携し順次整備していく。</div>								